CDR評価に伴う面談・背景の記録

独自の記録補助票｜CDR正式評価用紙ではありません。
正式な面接・採点には、利用条件を満たした公式資料と適切な訓練が必要です。

対象者ID：_____　評価日：_____

記録者：_____　判定者：_____

1　情報源と評価条件

情報提供者・関係／接触頻度／面接日・場所／使用した正式資料・版

2　以前の役割と現在の変化

本人の説明／情報提供者の具体例／いつから・頻度・必要な支援

3　認知面以外の影響・意見の相違

麻痺・疼痛・聴覚・視覚・言語・気分・環境・活動機会など

4　情報不足と次の確認

不足情報／確認先／担当／期限（未確認を正常として埋めない）

CDRの判定結果・根拠の転記

独自の記録補助票｜CDR正式評価用紙ではありません。
正式な面接・採点には、利用条件を満たした公式資料と適切な訓練が必要です。

対象者ID：_____　評価日：_____

記録者：_____　判定者：_____

正式資料で確定した結果を転記する欄です。この用紙から新たに採点しません。
未確定の場合は空欄と理由を残します。「未確定」は本票の記録状態で、CDRの正式区分ではありません。

領域（編集上の表記）	判定結果	根拠・正式記録の参照先
記憶（M）		
見当識（O）		
判断・問題解決（JPS）		
地域社会活動（CA）		
家庭生活・趣味（HH）		
身の回りの世話（PC）		

Global CDR：_____　CDR-SB：_____ / 18

正式判定日：_____　使用資料・判定規則：_____

CDR-SBは6領域の確定値の合計。Global CDRは単純な合計・平均ではありません。
欠けた領域を0で補いません。未確定理由・確認待ちの事項は下欄へ記入してください。

未確定理由・前回との差・判定者の確認

生活の支援計画・再確認

独自の記録補助票｜CDR正式評価用紙ではありません。
正式な面接・採点には、利用条件を満たした公式資料と適切な訓練が必要です。

対象者ID：_____　評価日：_____

記録者：_____　判定者：_____

1　本人が続けたい活動と具体的な困りごと

2　環境・声かけ・介助の計画

場面／本人が担う部分／支援する部分／担当者

3　経過・共有・再確認

実施日／変化した行動／支援量／本人の反応／共有先／次回予定

公式資料との関係・利用上の注意

本票はSTROKE LABが独自に作成した記録・支援計画用紙です。CDRの質問文、採点アンカー、公式ワークシートを再現したものではなく、単独で正式なCDRを実施することはできません。

CDRの権利者はWashington University in St. Louis。公式案内では臨床・研究利用にライセンスが必要で、採点表の出版物への転載には別途許諾が必要です。正式日本語版は、権利者の利用条件・入手手続きに従って取得してください。

公式案内：Knight ADRC「CDR Dementia Staging Instrument」
https://knightadrc.wustl.edu/professionals-clinicians/cdr-dementia-staging-instrument/
本票の臨床での印刷・記入可。正式尺度の利用許諾は付与しません。